

平成25年度第1回市政モニターアンケート結果

テーマ「ごみの減量化と資源化の取組」について

1 アンケート実施概要

- (1) 対 象 市政モニター 150人
- (2) 回答者数 146人
- (3) 実施期間 平成25年7月26日から8月12日まで
- (4) 目 的 相模原市のごみの総量は、様々なごみ減量施策や資源分別の推進に対する市民・事業者の皆様のご協力により、平成15年度をピークに減少傾向にあります。平成22年度から23年度は、ほぼ横ばい傾向になりました。

平成25年3月に改定しました相模原市一般廃棄物処理基本計画『循環型社会形成さがみはらプラン21』では、ごみの減量化・資源化を進めるために、市民・事業者・行政がより一層協働し、ごみを出さない環境づくりを進めることが重要であり、また、市民一人ひとりの積極的な行動が大切と考えています。

ごみの問題は、市民生活と密接に関わる問題です。皆様からの意見を基に、今後、さらなるごみの減量化・資源化の推進に取り組むためアンケートにご協力いただきました。

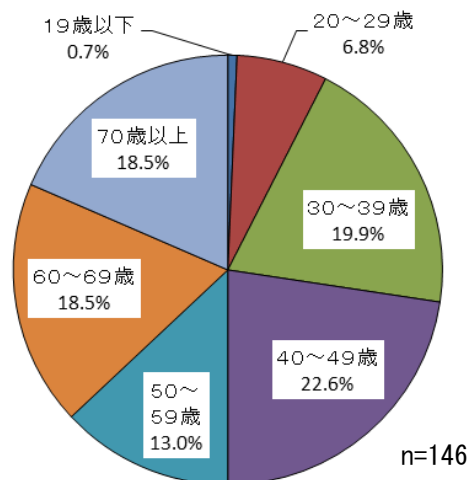
2 各設問と回答状況及び結果概要

【基本的項目についてお伺いします】

問1 あなたの年齢をお伺いします。(回答は1つ)

1 19歳以下	4 40～49歳	7 70歳以上
2 20～29歳	5 50～59歳	
3 30～39歳	6 60～69歳	

選択肢	回答数	回答分布
1	1	0.7%
2	10	6.8%
3	29	19.9%
4	33	22.6%
5	19	13.0%
6	27	18.5%
7	27	18.5%
合計	146	100.0%

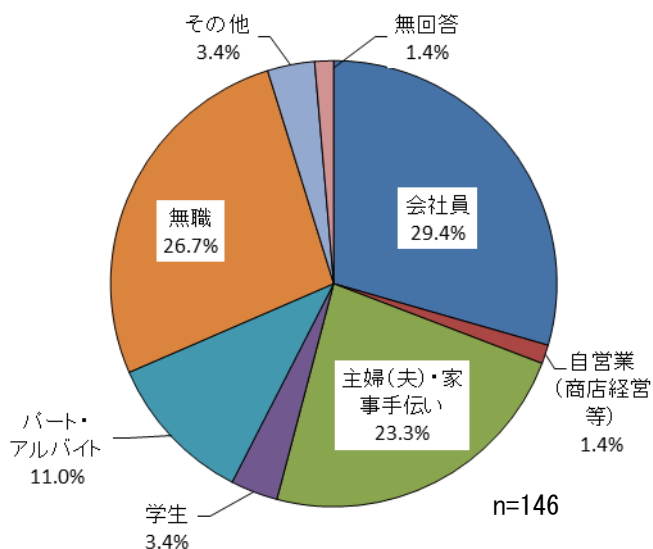


☆ 回答された方の年齢層は以上のとおりです。

問4 あなたの職業をお伺いします。(回答は1つ)

1 会社員	4 学生	7 その他
2 自営業(商店経営等)	5 パート・アルバイト	
3 主婦(夫)・家事手伝い	6 無職	

選択肢	回答数	回答分布
1	43	29.4%
2	2	1.4%
3	34	23.3%
4	5	3.4%
5	16	11.0%
6	39	26.7%
7	5	3.4%
無回答	2	1.4%
合計	146	100.0%

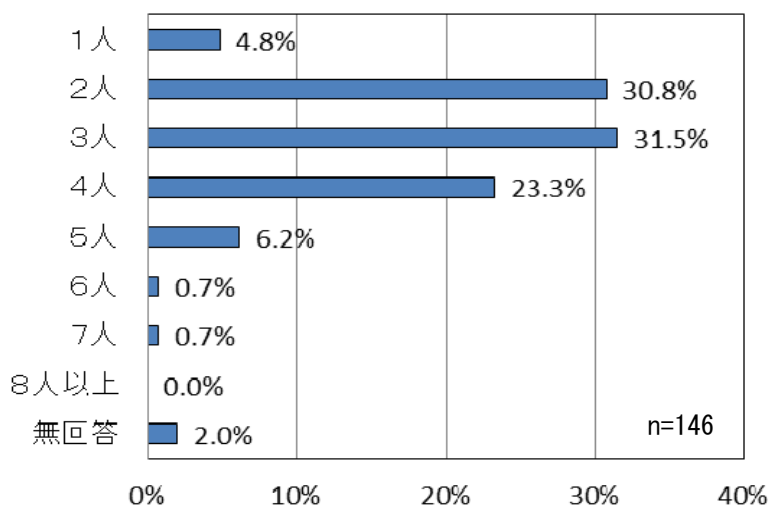


☆ 回答された方の職業は以上のとおりです。

問5 あなたの世帯の人数をお伺いします。(回答は1つ)

1 1人	4 4人	7 7人
2 2人	5 5人	8 8人以上
3 3人	6 6人	

選択肢	回答数	回答分布
1	7	4.8%
2	45	30.8%
3	46	31.5%
4	34	23.3%
5	9	6.2%
6	1	0.7%
7	1	0.7%
8	0	0.0%
無回答	3	2.0%
合計	146	100.0%

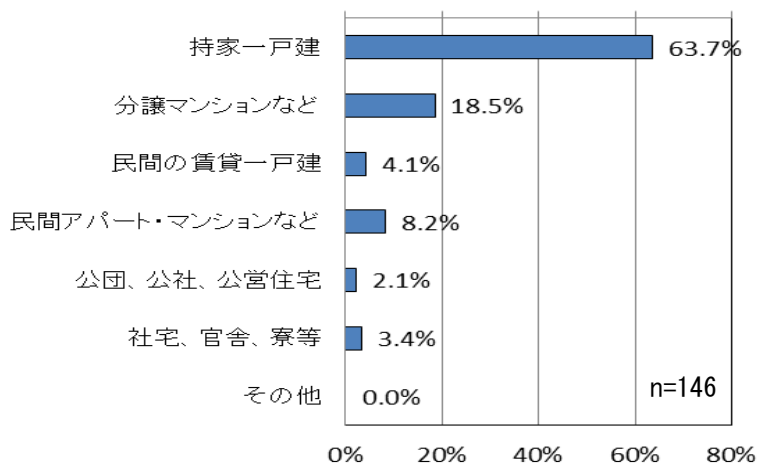


☆ 回答された方の世帯数は以上のとおりです。

問6 あなたの住居形態をお伺いします。(回答は1つ)

- | | |
|-----------------------------|--------------|
| 1 持家一戸建 | 5 公団、公社、公営住宅 |
| 2 持家共同住宅（分譲マンションなど） | 6 社宅、官舎、寮等 |
| 3 民間の賃貸一戸建 | 7 その他 |
| 4 民間の賃貸共同住宅（民間アパート・マンションなど） | |

選択肢	回答数	回答分布
1	93	63.7%
2	27	18.5%
3	6	4.1%
4	12	8.2%
5	3	2.1%
6	5	3.4%
7	0	0.0%
合計	146	100.0%



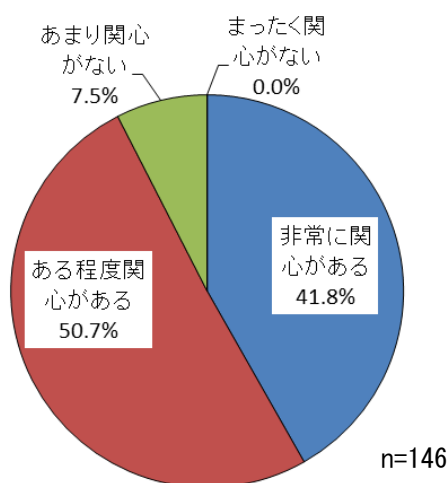
☆ 回答された方の住居形態は以上のとおりです。

【ごみ問題に関する意識や取組についてお伺いします】

問7 あなたは、ごみの減量化・資源化などのごみ問題に関心がありますか。(回答は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 非常に関心がある | 3 あまり関心がない |
| 2 ある程度関心がある | 4 まったく関心がない |

選択肢	回答数	回答分布
1	61	41.8%
2	74	50.7%
3	11	7.5%
4	0	0.0%
合計	146	100.0%



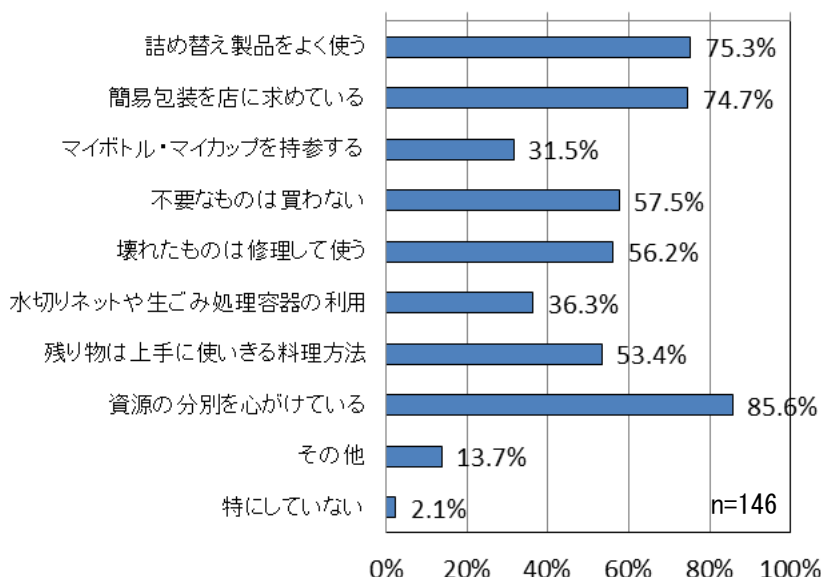
☆ ごみの減量化・資源化などのごみ問題について、「非常に関心がある」「ある程度関心がある」が、合わせて92.5%という結果となりました。

問8 あなたは日頃、ごみを少なくするために心がけていることはありますか。

(回答はいくつでも)

- 1 使い捨て製品を買わず、詰め替え製品をよく使う
- 2 マイバックを持参するなど、レジ袋をもらわないようにしたり、簡易包装を店に求めている
- 3 マイボトル・マイカップを持参するなど、カップをもらわないようにしている
- 4 すぐに流行遅れとなったり飽きたりしそうな不要なものは買わない
- 5 壊れたものは修理して使う
- 6 水切りネットや生ごみ処理容器の利用などにより、生ごみの減量化に努めている
- 7 買いすぎ、作りすぎをせず、残り物は上手に使いきって、生ごみを少なくするなど
の料理方法（エコクッキング）を心がけている
- 8 資源の分別を心がけている
- 9 その他
- 10 特にしていない

選択肢	回答数	回答分布
1	110	75.3%
2	109	74.7%
3	46	31.5%
4	84	57.5%
5	82	56.2%
6	53	36.3%
7	78	53.4%
8	125	85.6%
9	20	13.7%
10	3	2.1%



☆ ごみを少なくするために心がけている上位3項目は、「資源の分別を心がけている」が85.6%で最も多く、次いで「使い捨て製品を買わず、詰め替え製品をよく使う」が75.3%、「マイバックを持参するなど、レジ袋をもらわないようにしたり、簡易包装を店に求めている」が74.7%でほぼ同数という結果となりました。

問8 「9 その他」記入欄意見 抜粋

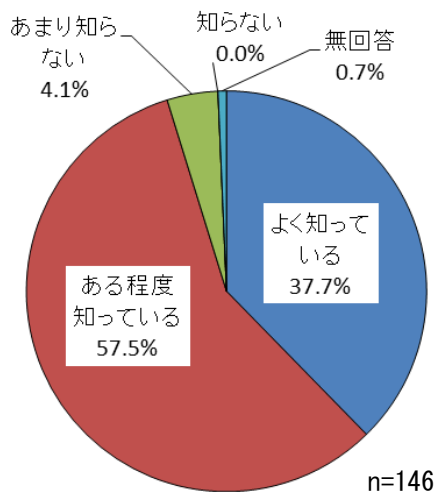
- 生ごみ、庭の雑草等は畑の堆肥にしている。
- リサイクルショップを活用。
- マイはしを使う。
- 1つの物を長く使うように心がけている。
- 食材は全部使い切る。
- ラップを使わないようにプラスチックの蓋やタッパーを利用。

【ごみや資源の出し方についてお伺いします】

問9 あなたは、家庭から出るごみ・資源の出し方や分別の方法について、どの程度知っていますか。(回答は1つ)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 よく知っている | 3 あまり知らない |
| 2 ある程度知っている | 4 知らない |

選択肢	回答数	回答分布
1	55	37.7%
2	84	57.5%
3	6	4.1%
4	0	0.0%
無回答	1	0.7%
合計	146	100.0%



☆ 家庭から出るごみ・資源の出し方や分別の方法について、「よく知っている」「ある程度知っている」が、合わせて95.2%という結果となりました。

ごみの分別・資源化の普及キャラクター
『分別戦隊シゲンジャー銀河』

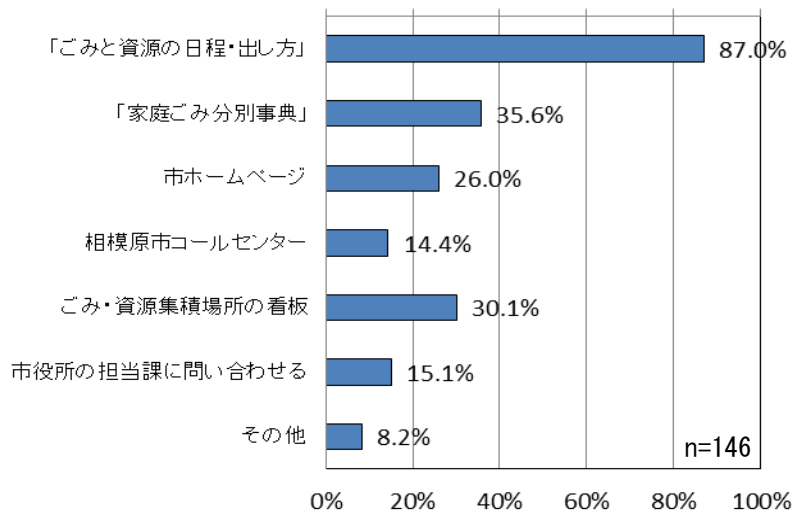


Copyrights(c)分別戦隊シゲンジャー銀河 WebCreators Fairytale/相模原市

問10 あなたは、ごみや資源を分別するときに、どのようなものを参考にされますか。
(回答はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1 「ごみと資源の日程・出し方」※1で調べる | 5 ごみ・資源集積場所の看板を見る |
| 2 「家庭ごみ分別事典」※2で調べる | 6 市役所の担当課に問い合わせる |
| 3 市ホームページで調べる | 7 その他 |
| 4 相模原市コールセンターに問い合わせる | |

選択肢	回答数	回答分布
1	127	87.0%
2	52	35.6%
3	38	26.0%
4	21	14.4%
5	44	30.1%
6	22	15.1%
7	12	8.2%



☆ ごみや資源を分別するときに参考にする上位3項目は、「ごみと資源の日程・出し方」で調べる」が87.0%で最も多く、次いで「家庭ごみ分別辞典」で調べる」が35.6%、「ごみ・資源集積場所の看板を見る」が30.1%という結果となりました。

問10 「7 その他」記入欄意見 抜粋

- 家族に聞く。
- マンション管理事務所に聞く。



※1 「ごみと資源の日程・出し方」
ごみの排出方法や収集日について
詳しく説明したパンフレット

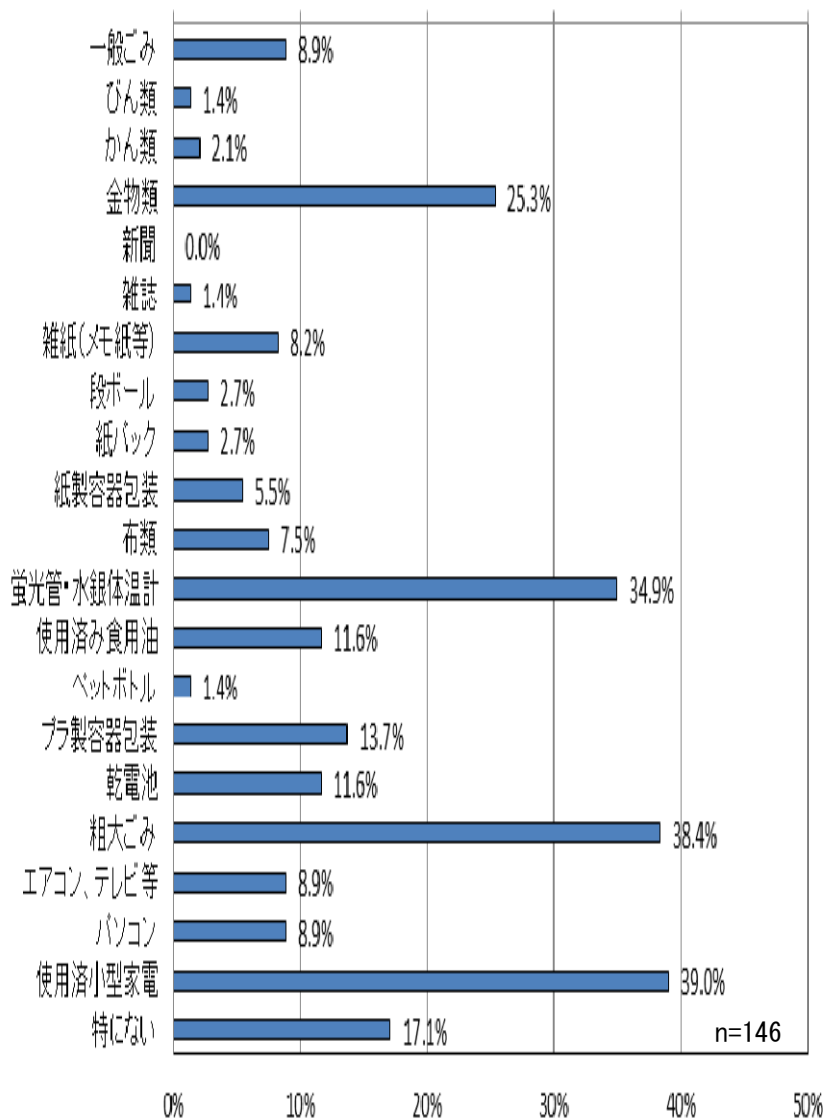


※2 「家庭ごみ分別辞典」
ごみの品目を50音順にわかりやすく案内する啓発冊子

問 1 1 あなたが、ごみや資源を分別するときに迷ったり、わからなかったりする品目はどのようなものですか。(回答は5つまで)

1 一般ごみ	9 紙バック	17 粗大ごみ
2 びん類	10 紙製容器包装	18 エアコン、テレビ、 冷蔵庫、洗濯機・乾燥機
3 かん類	11 布類	19 パソコン
4 金物類	12 蛍光管・水銀体温計	20 使用済小型家電
5 新聞	13 使用済み食用油	21 特にない
6 雑誌	14 ペットボトル	
7 雑紙(メモ紙等)	15 プラ製容器包装	
8 段ボール	16 乾電池	

選択肢	回答数	回答分布
1	13	8.9%
2	2	1.4%
3	3	2.1%
4	37	25.3%
5	0	0.0%
6	2	1.4%
7	12	8.2%
8	4	2.7%
9	4	2.7%
10	8	5.5%
11	11	7.5%
12	51	34.9%
13	17	11.6%
14	2	1.4%
15	20	13.7%
16	17	11.6%
17	56	38.4%
18	13	8.9%
19	13	8.9%
20	57	39.0%
21	25	17.1%



☆ ごみや資源を分別するときに迷ったり、わからなかったりする品目の上位5品目は、「使用済小型家電」が39.0%で最も多く、次いで「粗大ごみ」が38.4%、「蛍光管・水銀体温計」が34.9%、「金物類」が25.3%、「プラ製容器包装」が13.7%という結果となりました。

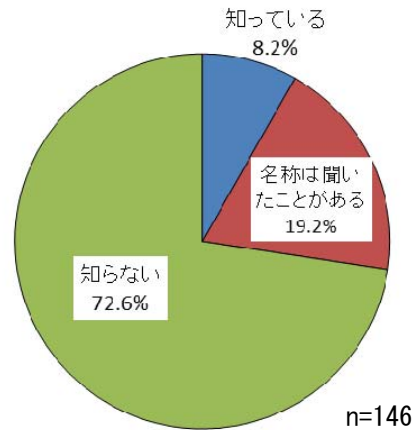
【ごみの減量化・資源化のために必要な取組についてお伺いします】

問12 市では、平成25年3月に「相模原市一般廃棄物処理基本計画」を改定し、平成30年度までに市民1人1日当たりの家庭ごみ排出量を480グラム以下にする目標等を掲げております。
(平成24年度実績：538グラム)

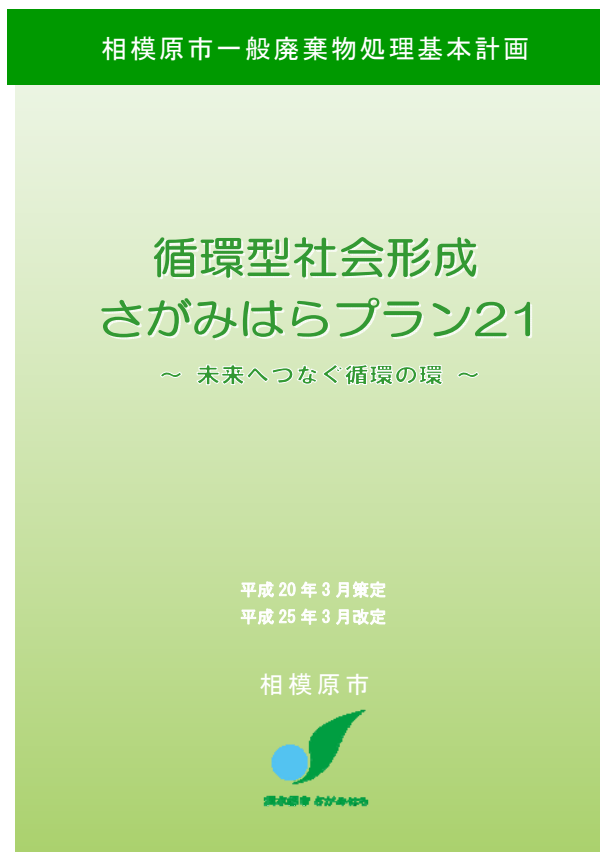
あなたは、この計画を知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている 2 名称は聞いたことがある 3 知らない

選択肢	回答数	回答分布
1	12	8.2%
2	28	19.2%
3	106	72.6%
合計	146	100.0%



☆ 「相模原市一般廃棄物処理基本計画」について「知っている」が8.2%、「名称は聞いたことがある」が19.2%に対し、「知らない」が72.6%という結果となりました。



ごみ減量作戦の普及キャラクター

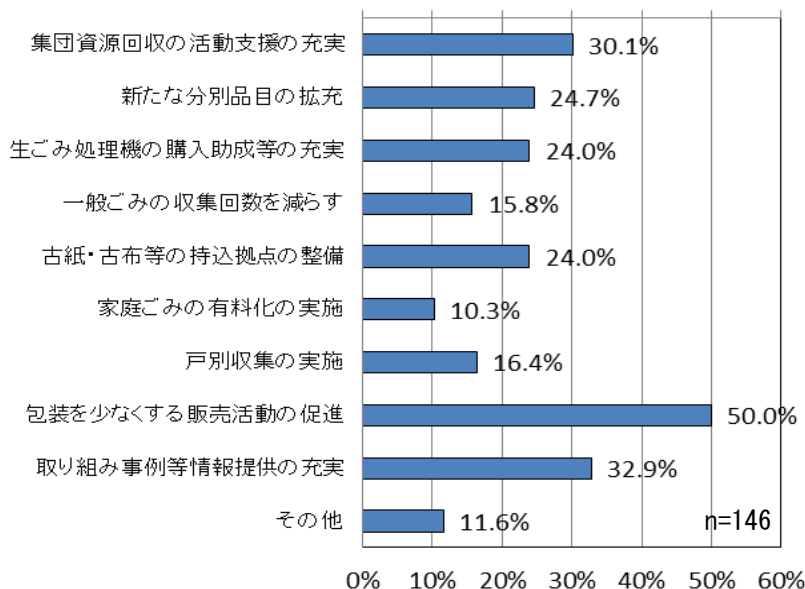
『レモンちゃん』



問13 あなたは、市や市民が行うごみの減量化・資源化の取組について、どのような取組が必要だと思いますか。(回答は3つまで)

- 1 地域の集団資源回収の活動支援の充実
- 2 使用済小型家電製品等、新たな分別品目の拡充
- 3 コンポスト化容器や電動式生ごみ処理機の購入助成等の充実
- 4 一般ごみの収集回数を減らすことによる、ごみの減量化・資源化への意識付け
- 5 市民が多量の資源を持ち込める、古紙・古布等の持込拠点の整備
- 6 家庭ごみの有料化の実施
- 7 戸建住宅の軒先で収集する戸別収集（集合住宅は集積所）の実施
- 8 包装を少なくする販売活動（量り売り等）の促進
- 9 ごみ減量の取り組み事例等、情報提供の充実
- 10 その他

選択肢	回答数	回答分布
1	44	30.1%
2	36	24.7%
3	35	24.0%
4	23	15.8%
5	35	24.0%
6	15	10.3%
7	24	16.4%
8	73	50.0%
9	48	32.9%
10	17	11.6%



☆ ごみの減量化・資源について、どのような取組が必要かの上位3項目は、「包装を少なくする販売活動（量り売り等）の促進」が50.0%で最も多く、次いで「ごみ減量の取り組み事例等、情報提供の充実」が32.9%、「地域の集団資源回収の活動支援の充実」が30.1%という結果となりました。

問13 「10 その他」記入欄意見 抜粋

- 生ごみ処理機の技術革新に投資。
- デパート、スーパーなどでつめかえ製品の良さをPR。
- リユースできる施設を地域ごとに作る。
- 一人家庭や、アパート・マンション転入者等への周知啓発。
- 有料にならないよう、ごみを減らすPR。

【一般ごみの収集回数の見直しについてお伺いします】

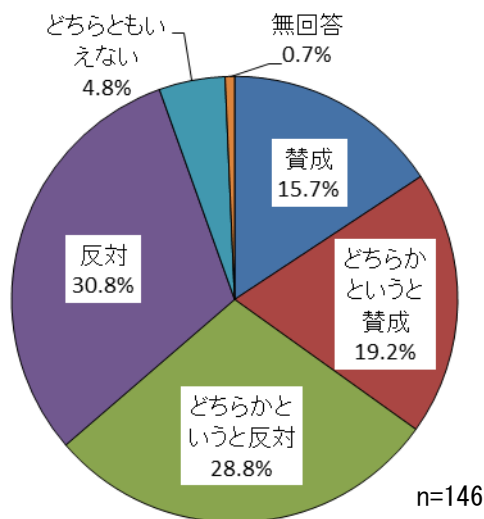
市では、現在、「一般ごみ」を週3回収集しています。ごみの量は平成15年度をピークに減少しており、現在の量はピーク時の8割以下になっています。また、全国では約9割の自治体が週2回収集を実施しており、県内の市では本市と川崎市以外は週2回収集を実施し、ごみの減量化がさらに進んでいます。(川崎市は本年9月から週2回収集を実施予定)

以下、「一般ごみの収集回数の見直し」についてお伺いします。

問14 あなたは、一般ごみの収集回数を週3回から週2回に変更することについて、どのように思いますか。(回答は1つ)

- 1 賛成である → (問14-1へ)
- 2 どちらかという賛成である → (問14-1へ)
- 3 どちらかという反対である → (問14-2へ)
- 4 反対である → (問14-2へ)
- 5 どちらともいえない → (問15へ)

選択肢	回答数	回答分布
1	23	15.7%
2	28	19.2%
3	42	28.8%
4	45	30.8%
5	7	4.8%
無回答	1	0.7%
合計	146	100.0%



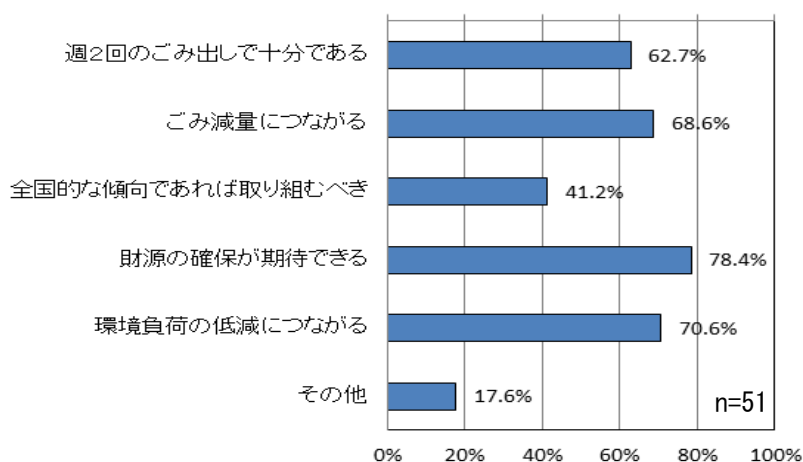
☆ 一般ごみ週2回収集について、「賛成である」「どちらかという賛成である」が合わせて34.9%に対し、「どちらかという反対である」「反対である」は59.6%という結果となりました。

問14-1 問14で「1 賛成である」、「2 どちらかという賛成である」とお答えの方にお伺いします。

あなたがそのようにお考えになるのはどうしてでしょうか。(回答はいくつでも)

- 1 資源分別などにより一般ごみが減っているの、週2回のごみ出しで十分である
- 2 ごみ出しの回数が減ることで、さらに資源の分別などが進み、ごみ減量につながる
- 3 全国的な傾向であれば取り組むべき
- 4 ごみの減量により市の処理費用の削減や、財源の確保が期待できる
- 5 収集車両の稼働が減って環境負荷の低減につながる
- 6 その他

選択肢	回答数	回答分布
1	32	62.7%
2	35	68.6%
3	21	41.2%
4	40	78.4%
5	36	70.6%
6	9	17.6%



☆ 「賛成」または「どちらかという賛成」と考える理由の上位3項目は、「ごみの減量により市の処理費用の削減や、財源の確保が期待できる」が78.4%で最も多く、次いで「収集車両の稼働が減って環境負荷の低減につながる」が70.6%、「ごみ出しの回数が減ることで、さらに資源の分別などが進み、ごみ減量につながる」が68.6%という結果となりました。

問14 「6 その他」記入欄意見 抜粋

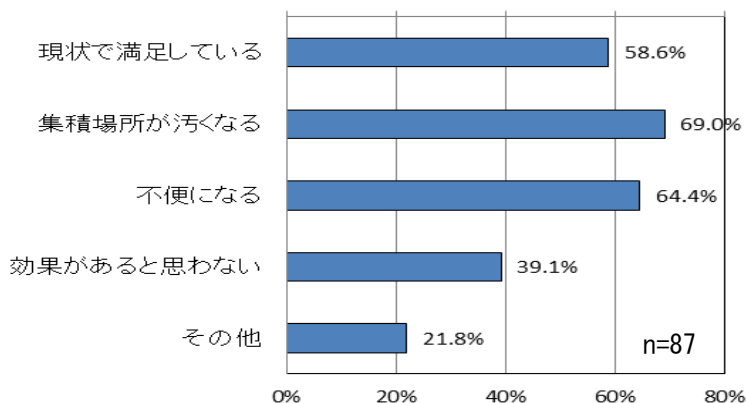
- 旧津久井地域は、合併前は週2回だったが、特に困るという事もなかった。
- 住民の意識改革によって、ごみの減量はいくらでもできると思う。

問14-2 問14で「3 どちらかというとは反対である」、「4 反対である」とお答えの方にお伺いします。

あなたがそのようにお考えになるのはどうしてでしょうか。(回答はいくつでも)

- 1 現状で満足している
- 2 ルールを守らない人が増えて、ごみ・資源集積場所が汚くなる
- 3 不便になる
- 4 効果があると思わない
- 5 その他

選択肢	回答数	回答分布
1	51	58.6%
2	60	69.0%
3	56	64.4%
4	34	39.1%
5	19	21.8%



☆ 「どちらかというとは反対」または「反対」と考える理由の上位3項目は、「ルールを守らない人が増えて、ごみ・資源集積場所が汚くなる」が69.0%で最も多く、次いで「不便になる」が64.4%、「現状で満足している」が58.6%という結果となりました。

問14-2 「5 その他」記入欄意見 抜粋

- 収集回数を減らすだけでなく、ごみの有料化や戸別収集でゴミ出しに責任を負ってもらうなど制度改革が必要。
- 夏場は週2回だと不安。
- 回数が減れば溢れてしまう。
- 不法投棄が多く、決められた曜日以外にも出ている。

【家庭ごみの有料化についてお伺いします】

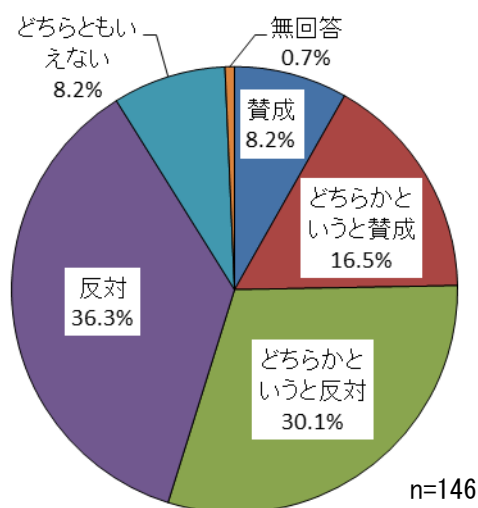
市では、ごみの減量化・資源化をめざして、様々な取組を進めていますが、最近ではごみの減量化や市民意識の向上を図る目的で、ごみの排出量に応じて各家庭がその処理費用の一部を負担する「ごみの有料化」を導入する自治体が増え、全国では6割以上の自治体（近隣市では、町田市、八王子市、大和市等）が既に実施しています。

以下、「ごみの有料化」についてお伺いします。

問15 あなたは、ごみの有料化について、どのように思いますか。（回答は1つ）

- 1 賛成である → (問15-1へ)
- 2 どちらかという賛成である → (問15-1へ)
- 3 どちらかという反対である → (問15-2へ)
- 4 反対である → (問15-2へ)
- 5 どちらともいえない → (問16へ)

選択肢	回答数	回答分布
1	12	8.2%
2	24	16.5%
3	44	30.1%
4	53	36.3%
5	12	8.2%
無回答	1	0.7%
合計	146	100.0%



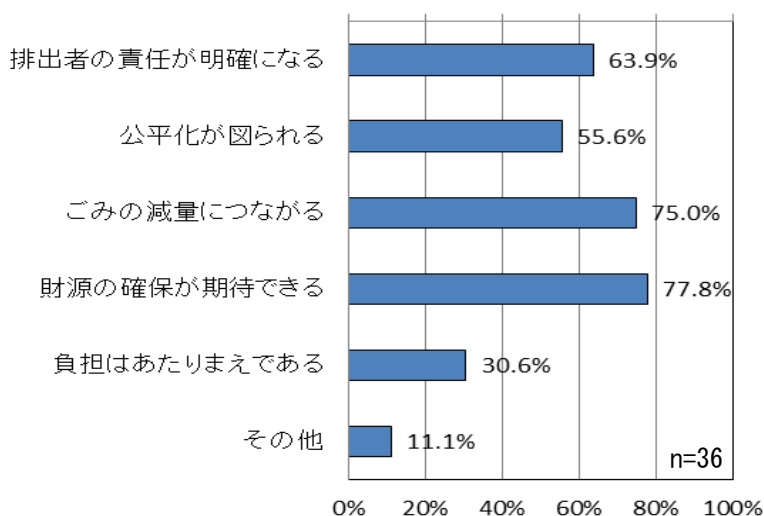
☆ ごみの有料化について、「賛成である」「どちらかという賛成である」が合わせて24.7%に対し、「どちらかという反対である」「反対である」は66.4%という結果となりました。

問15-1 問15で「1 賛成である」、「2 どちらかという賛成である」とお答えの方にお伺いします。

あなたがそのようにお考えになるのはどうしてでしょうか。(回答はいくつでも)

- 1 排出者（個人）の責任が明確になる
- 2 ごみの排出量に応じた費用負担となるため、公平化が図られる
- 3 払う料金を少なくするために、分別、リサイクルやごみになるものを購入しないなどの努力が進み、ごみの減量につながる
- 4 ごみの減量により市の処理費用の削減や、財源の確保が期待できる
- 5 サービスの受益者が応分の負担をするのはあたりまえである
- 6 その他

選択肢	回答数	回答分布
1	23	63.9%
2	20	55.6%
3	27	75.0%
4	28	77.8%
5	11	30.6%
6	4	11.1%



☆ 「賛成」または「どちらかという賛成」と考える理由の上位3項目は、「ごみの減量により市の処理費用の削減や、財源の確保が期待できる」が77.8%で最も多く、次いで「払う料金を少なくするために、分別、リサイクルやごみになるものを購入しないなどの努力が進み、ごみの減量につながる」が75.0%、「排出者（個人）の責任が明確になる」が63.9%という結果となりました。

問15-1 「6 その他」記入欄意見 抜粋

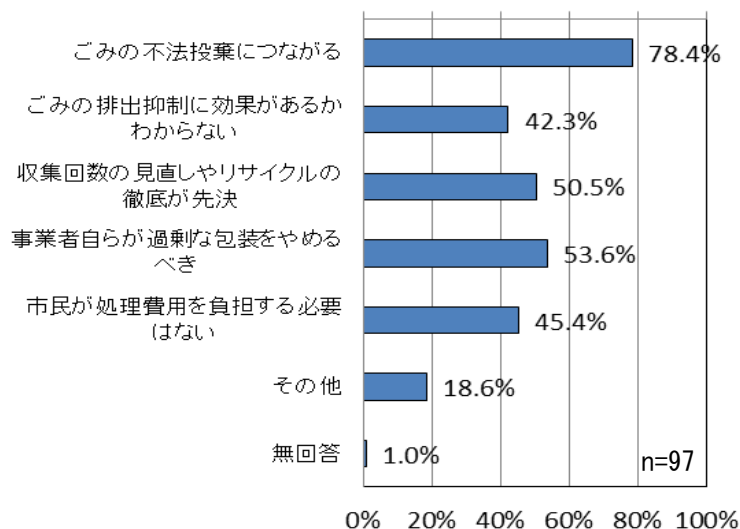
- ごみの有料化とあわせ、戸別収集・コンポスト化容器や電動式生ごみ処理機の購入助成等の制度改革が必須だと思う。
- ごみ袋代を有料にすることによって、買い物時に無駄な袋を貰わなくなり、エコにつながる。
- 生活必需品（生ごみ）を除くと良い。

問15-2 問15で「3 どちらかという反対である」、「4 反対である」とお答えの方にお伺いします。

あなたがそのようにお考えになるのはどうしてでしょうか。(回答はいくつでも)

- 1 ごみの不法投棄につながるおそれがある
- 2 ごみの排出の抑制に効果があるかどうかわからない
- 3 ごみの減量には一般ごみの収集回数の見直しやリサイクルの徹底、啓発など有料化以外の手段が先決である
- 4 市民がごみを排出するのは事業者の過剰な包装などによるところが大きいので、事業者自らが過剰な包装をやめるべきである
- 5 税とは別に市民が処理費用を負担する必要はない
- 6 その他

選択肢	回答数	回答分布
1	76	78.4%
2	41	42.3%
3	49	50.5%
4	52	53.6%
5	44	45.4%
6	18	18.6%
無回答	1	1.0%



☆ 「どちらかという反対」または「反対」と考える理由の上位3項目は、「ごみの不法投棄につながるおそれがある」が78.4%で最も多く、次いで「市民がごみを排出するのは事業者の過剰な包装などによるところが大きいので、事業者自らが過剰な包装をやめるべきである」が53.6%、「ごみの減量には一般ごみの収集回数の見直しやリサイクルの徹底、啓発など有料化以外の手段が先決である」が50.5%という結果となりました。

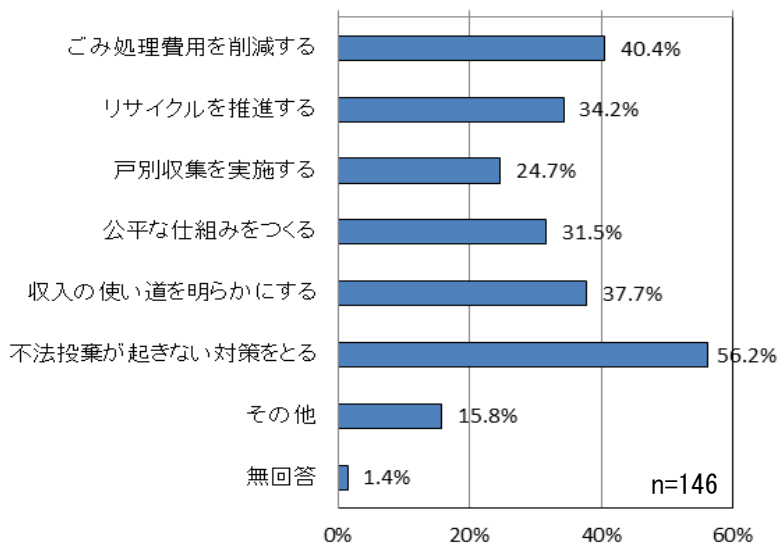
問15-2 「6 その他」記入欄意見 抜粋

- まず、ごみの減量を推進する施策を提案すべき。
- 市民への意識付けが十分になされてからでない、不法投棄につながると思う。
- ルールを守らない人が必ずいると思う。

問 1 6 ごみの有料化を進める場合に、あなたが特に市の取組として必要だと思うことは何ですか。
(回答は3つまで)

- 1 ごみの収集や処分の効率化を図り、ごみ処理費用を削減する
- 2 分別品目を増やし、リサイクルを推進する
- 3 現状のごみ資源集積場所による収集方式を改め、家庭ごとの収集（戸別収集）を実施する
- 4 ごみの減量化やリサイクルの努力をした人は支払いが少なくなるような公平な仕組みをつくる
- 5 有料化によるごみの減量やごみ処理費用の削減効果を明らかにするとともに、有料化による料金収入の使い道を明らかにする
- 6 不法投棄が起きないように対策をとる
- 7 その他

選択肢	回答数	回答分布
1	59	40.4%
2	50	34.2%
3	36	24.7%
4	46	31.5%
5	55	37.7%
6	82	56.2%
7	23	15.8%
無回答	2	1.4%



☆ ごみの有料化について、市が取組む必要があると考える上位3項目は、「不法投棄が起きないように対策をとる」が56.2%で最も多く、次いで「ごみの収集や処分の効率化を図り、ごみ処理費用を削減する」が40.4%、「有料化によるごみの減量やごみ処理費用の削減効果を明らかにするとともに、有料化による料金収入の使い道を明らかにする」が37.7%という結果となりました。

問 1 6 「7 その他」記入欄意見 抜粋

- リサイクルやごみの減量に努力した家庭に対し、何らかの軽減策を取る。
- ごみ処理に携わる職員の人数を減らすことも必要。
- 処理能力を上げて、他市の分も有料で処理して収益をあげる。
- 市民に納得してもらうよう、十分な説明が必要。
- アパート、マンション等に対しては、広報、チラシの配布などアナウンスを徹底する。
- 広く市民に呼びかけるようイベントや情報発信をした方がよい。
- 有料化するならそのメリットを具体的に示すべき。
- リサイクルスクエアを充実し、使えるものを再利用するシステムを拡充する。

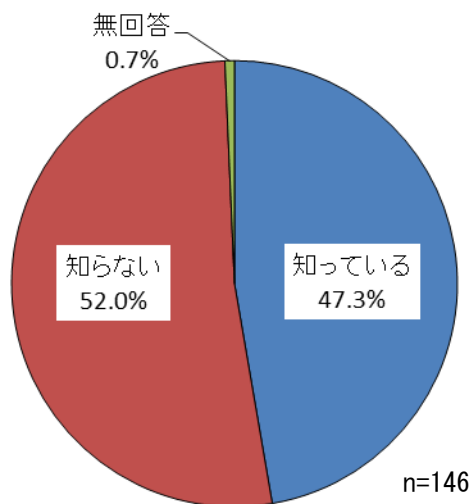
【使用済小型家電製品の回収についてお伺いします】

問17 市では平成25年3月から、ご家庭で不要となった使用済小型家電製品（携帯電話、デジタルカメラ等）を市公共施設等で回収し、それらに含まれる有用金属等のリサイクルを行うモデル事業に取り組んでいます。

あなたは、この事業を知っていますか。（回答は1つ）

- 1 知っている → (問17-1へ) 2 知らない → (問18へ)

選択肢	回答数	回答分布
1	69	47.3%
2	76	52.0%
無回答	1	0.7%
合計	146	100.0%



☆ 使用済小型家電製品のリサイクル回収事業について、「知っている」が47.3%に対し、「知らない」が52.0%という結果となりました。



使用済小型家電回収ボックス
公共施設など市内17か所に設置



回収ボックスから回収された使用済小型家電

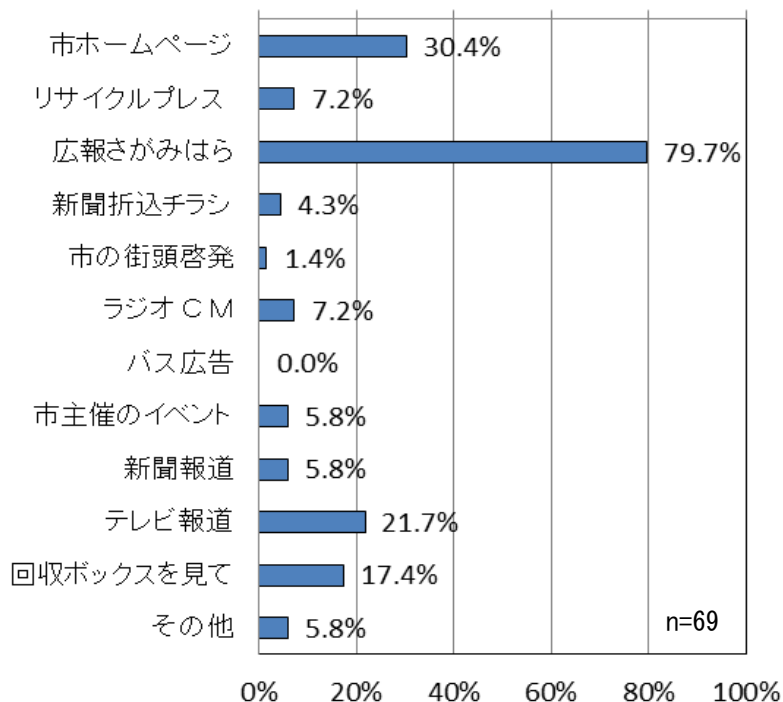
問17-1 問17で「1 知っている」とお答えの方にお伺いします。

市では、このモデル事業をお知らせするため、次の広報活動を行ってきました。

あなたは、使用済小型家電リサイクル事業をなにで知りましたか。(回答はいくつでも)

- | | | |
|------------------|------------|--------------|
| 1 市ホームページ | 5 市の街頭啓発 | 9 新聞報道 |
| 2 リサイクルプレス | 6 ラジオCM | 10 テレビ報道 |
| 3 広報さがみはら (市広報紙) | 7 バス広告 | 11 回収ボックスを見て |
| 4 新聞折込チラシ | 8 市主催のイベント | 12 その他 |

選択肢	回答数	回答分布
1	21	30.4%
2	5	7.2%
3	55	79.7%
4	3	4.3%
5	1	1.4%
6	5	7.2%
7	0	0.0%
8	4	5.8%
9	4	5.8%
10	15	21.7%
11	12	17.4%
12	4	5.8%



☆ 使用済小型家電リサイクル事業をなにで知ることができたかについての上位3項目は、「広報さがみはら」が79.7%で最も多く、次いで「市ホームページ」が30.4%、「テレビ報道」が21.7%という結果となりました。

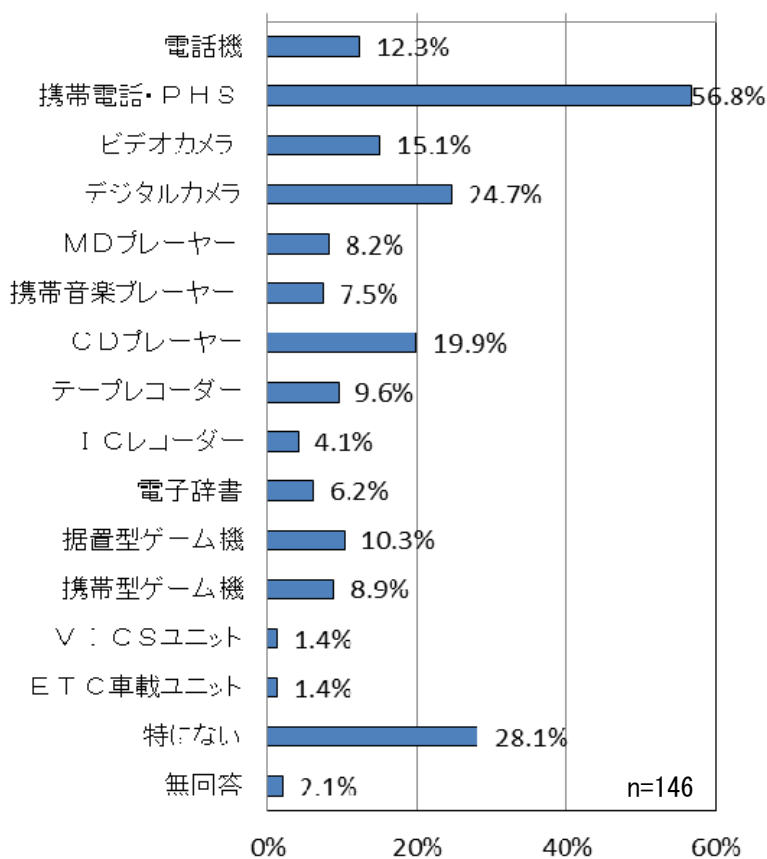
問17-1 「12 その他」記入欄意見 抜粋

- 知人に聞いて知った。
- もっと市民に幅広く知ってもらえる様に、収集車から事業のお知らせを流す取り組みをしたらどうか。

問18 次の小型家電はモデル事業として市でリサイクルを行っています、あなたの家庭において、使用していない、または使えなくなった小型家電で保管しているものはありますか。
次の品目の中からお選びください。(回答はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1 電話機 | 9 ICレコーダー |
| 2 携帯電話・PHS | 10 電子辞書 |
| 3 ビデオカメラ | 11 据置型ゲーム機 |
| 4 デジタルカメラ | 12 携帯型ゲーム機 |
| 5 MDプレーヤー | 13 VICSユニット |
| 6 携帯音楽プレーヤー (HDD・フラッシュメモリ) | 14 ETC車載ユニット |
| 7 CDプレーヤー | 15 特にない → (問19へ) |
| 8 テープレコーダー (デッキを除く) | |

選択肢	回答数	回答分布
1	18	12.3%
2	83	56.8%
3	22	15.1%
4	36	24.7%
5	12	8.2%
6	11	7.5%
7	29	19.9%
8	14	9.6%
9	6	4.1%
10	9	6.2%
11	15	10.3%
12	13	8.9%
13	2	1.4%
14	2	1.4%
15	41	28.1%
無回答	3	2.1%



☆ 使用していない、または使えなくなった小型家電で保管しているものの上位3品目は、「携帯電話・PHS」が56.8%で最も多く、次いで「デジタルカメラ」が24.7%、「CDプレーヤー」が19.9%という結果となりました。

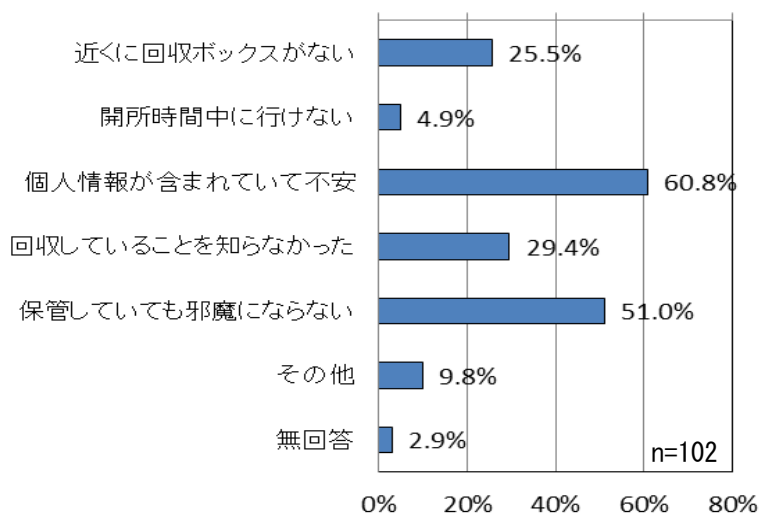
問18-1 問18で選択肢「1~14」を選択された方にお伺いします。

保管されている品目がある場合、あなたが保管されている理由は何ですか。

(回答は3つまで)

- 1 近くに回収ボックスがないから
- 2 回収ボックスが公共施設にあり、開所時間中に行けないから
- 3 個人情報が含まれており、処理に不安があるから
- 4 回収していることを知らなかったから
- 5 保管していても邪魔にならないから
- 6 その他

選択肢	回答数	回答分布
1	26	25.5%
2	5	4.9%
3	62	60.8%
4	30	29.4%
5	52	51.0%
6	10	9.8%
無回答	3	2.9%



☆ 保管されている品目がある場合、保管されている理由の上位3項目は、「個人情報が含まれており、処理に不安があるから」が60.8%で最も多く、次いで「保管していても邪魔にならないから」が51.0%、「回収していることを知らなかったから」が29.4%という結果となりました。

問18-1 「6 その他」記入欄意見 抜粋

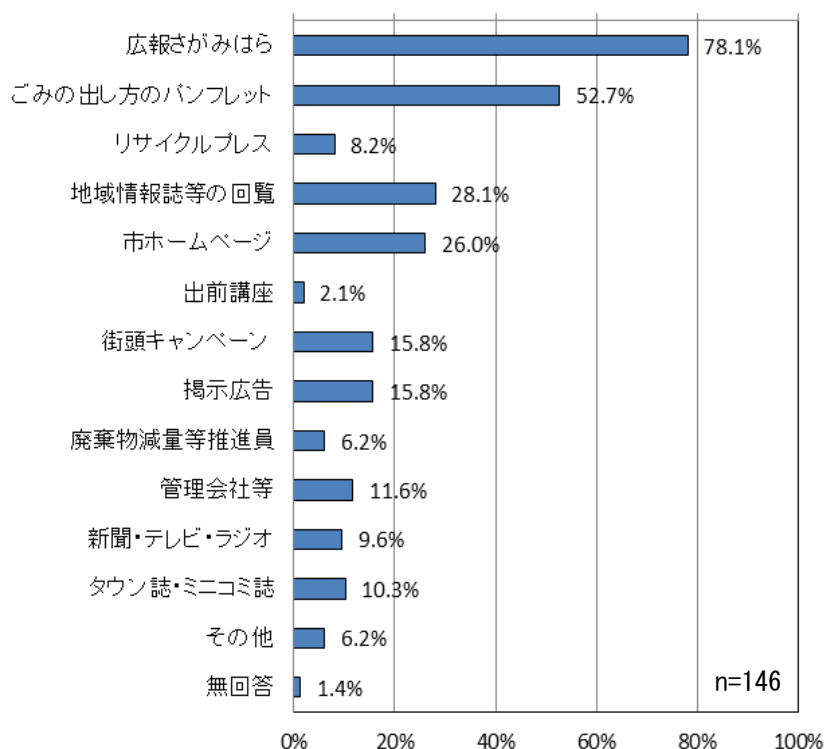
- 有料だと思っていた。
- データの移送方法がわからず、処分できない。
- リサイクルショップの買取サービスを利用することが多い。
- いつかまた使うことになるかもしれない。
- 買ったときの思い出などから処分できない。
- 新規購入時に下取りに出す予定。
- 回収場所へ持っていく時間がない。持っていくのが面倒だから。

【市からの情報提供についてお伺いします】

問19 今後、市がごみやリサイクルに関する情報をお知らせする場合、どのような方法が効果的だと思いますか。(回答は3つまで)

- 1 広報さがみはら
- 2 「ごみと資源の日程・出し方」や「家庭ごみ分別事典」などのパンフレット
- 3 市のリサイクル情報誌「リサイクルプレス」
- 4 自治会の「地域情報誌」等の回覧
- 5 市ホームページ
- 6 市が地域で行う「出前講座」
- 7 鉄道駅やスーパー等での街頭キャンペーン
- 8 鉄道やバスなどの公共交通機関の車内や駅構内での掲示広告
- 9 自治会の役員・廃棄物減量等推進員
- 10 マンションやアパートの管理会社等
- 11 新聞・テレビ・ラジオ放送
- 12 タウン誌・ミニコミ誌
- 13 その他

選択肢	回答数	回答分布
1	114	78.1%
2	77	52.7%
3	12	8.2%
4	41	28.1%
5	38	26.0%
6	3	2.1%
7	23	15.8%
8	23	15.8%
9	9	6.2%
10	17	11.6%
11	14	9.6%
12	15	10.3%
13	9	6.2%
無回答	2	1.4%



☆ ごみやリサイクルに関する情報をお知らせする場合の効果的な方法についての上位3項目は、「広報さがみはら」が78.1%で最も多く、次いで「「ごみと資源の日程・出し方」や「家庭ごみ分別事典」などのパンフレット」が52.7%、「自治会の「地域情報誌」等の回覧」が28.1%という結果となりました。

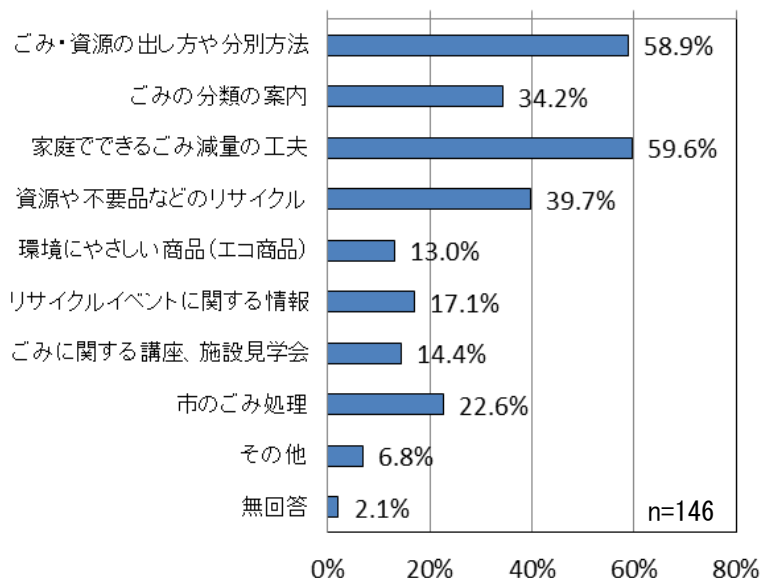
問19 「13 その他」記入欄意見 抜粋

- ひばり放送。
- メールマガジン。
- ツイッター。
- 収集車から案内を流す。
- 教育機関（幼稚園、学校等）を通じて。
- 市役所ロビーにリサイクル分別コーナーを設ける。

問20 ごみの減量化・資源化を進めるためには、今後、市はどのような情報提供を充実するべきだと思いますか。（回答は3つまで）

- 1 ごみ・資源の出し方や分別の方法に関する情報
- 2 ごみの分類の案内に関する情報
- 3 家庭でできるごみ減量の工夫に関する情報
- 4 資源や不要品などのリサイクル等に関する情報
- 5 環境にやさしい商品（エコ商品）に関する情報
- 6 フリーマーケットなどのリサイクルイベントに関する情報
- 7 ごみに関する講座、施設見学会などに関する情報
- 8 市のごみ処理に関する情報
- 9 その他

選択肢	回答数	回答分布
1	86	58.9%
2	50	34.2%
3	87	59.6%
4	58	39.7%
5	19	13.0%
6	25	17.1%
7	21	14.4%
8	33	22.6%
9	10	6.8%
無回答	3	2.1%



☆ ごみの減量化・資源化を進めるために充実するべき情報提供の上位3項目は、「家庭でできるごみ減量の工夫に関する情報」が59.6%で最も多く、次いで「ごみ・資源の出し方や分別の方法に関する情報」が58.9%、「資源や不要品などのリサイクル等に関する情報」が39.7%という結果となりました。

問20 「9 その他」記入欄意見 抜粋

- リサイクルショップとの連携。
- ごみ減量による、「各家庭におけるメリット」の周知。
- 隣接市の有料化に伴う市民の費用負担などといった情報提供。
- 減量化・資源化を金額に置き換えたデータによる説明（経年で継続する）。
- 小中学校で教育の一環としてごみの教育や社会見学・体験学習をさせる。
- ごみ減量のアイデアを募集する。
- あいまいで迷う分別品目の細かい判断方法をホームページ等で掲載。

問21 その他、ごみの減量化・資源化に関して、ご意見、ご要望などございましたらご記入ください。（回答記入欄に記入）

《週2回収集・有料化・戸別収集について》

<p>・個人的には、現在も週2回しかごみを出していませんので、一般ごみは週2回で満足です。反対にプラが週1回なのが困ります。プラって結構かさばり、置き場に困っております。</p>
<p>・季節によって、収集回数を変えてみては？夏場、生ごみを置いていくのは臭いが出るので週3回は回収してほしい。逆に冬場は、週2回でも大丈夫かと思う。</p>
<p>・ごみの有料化は良いと思いますが、隣の町田市の話を知ると、ごみ袋が高すぎると思います。週2回の回収にして、ごみ袋を安価にしてもらえれば賛成です。</p>
<p>・ごみの減量化には、ごみ有料化が必要だと思います。有料化に関する値段については、他の市の例をみるのではなく、相模原市民に対して、どのぐらいの値段なら納得していただけるかを、問う必要があると考えます。</p>
<p>・私はごみ有料化も良いと思っています。理由はごみを出す方のマナーが悪くいつも不愉快な思いをしています。有料になるとごみも少しは減らそうと思ってくれると思います。</p>
<p>・有料にして利益が出たらそのぶん不法放棄の監視に当てるとか、道路の植木などの環境に当てるなどしてほしいと思います。</p>
<p>・有料化する前に、ごみを減らすための工夫や市民への協力に力を入れて欲しいと思います。市民ひとりひとりが意識して、ごみの削減等の行動を起こせば、だいぶ改善されるのではないのでしょうか？改善ができないと、有料化も考えなければならないと思う。</p>
<p>・不法投棄は、お金を出して処理してもらおうのが嫌な人が投棄しているのだと思うので、有料化にされると益々ごみが投棄されてしまうと思います。</p>
<p>・ごみの回収も市政のサービスの一つではないのでしょうか？有料化の前に取り組む方法を考えて頂きたいです。</p>
<p>・ごみ袋の有料化などを検討されていると思いますが、有料化は最後の手段です。有料化に踏み切る前に、過剰包装削減キャンペーンなど、打つ手は沢山あると思います。</p>
<p>・戸別収集にしての有料化はごみ出しに行く手間が省けるのだから利益者負担で当たり前。また、戸別収集は集積場所が廃止されここに無分別不法投棄することができないのでこの点でのメリットもあります。</p>
<p>・少子化高齢化社会に順応した、収集方式や処理方法にしていくこと。</p>
<p>・相模原市はごみ処理に関してたいへん進んでいると思います。市民サービスがとても良いと思います。今後も有料化等々新しい制度をどんどん推進していただけると安心です。</p>

《資源について》

・小型家電の範囲を広げ、稀少金属などのリサイクルを徹底して行ってほしい。
・貴金属を含む小型電化製品は、無償で回収すべき。
・リサイクルの品目や回収日を増やし、リサイクル化を促進する。
・リサイクルやごみの減量に努力した家庭への何らかの軽減策を取る。
・リサイクルショップと連携して不用品の買い取りや低価格での戸別回収を促進する。
・リサイクルスクエアのフリーマーケットをもっと利用しやすくしてほしい。捨てるほどでもない不要なものを簡単に引き取ってくれて、だれでも持っていけるような設備がほしい。
・子どもの服やおもちゃは、まだ使用できるものも多いので、子どもセンターなどを会場にしておゆずり会（無料）があるといいなと思います。
・新聞、ダンボール、びん、カンなど資源化できるごみについては、個人で持ち込み可能施設を紹介して換金できるようにしてはいかかかと。
・ボタン電池は一部の電気店のみの回収のため、一般ごみで処分している世帯が多いと思われる。小売店に、ボタン電池を回収させる事を徹底する必要があるのでは。
・ペットボトルは週1回の回収でもいいが、他のプラは週2回くらいにして欲しい。
・容器包装のごみが多すぎて、週1回の収集では少ないと思う。せつかく分別していても家に置く場所がなく結局一般ごみの日に出すこともある。
・庭木の剪定ごみをチップにするなどの取組。
・生ごみをもっと効率的に減量できないか。（生ごみ処理機を充実する、生ごみを堆肥にする等）

《啓発方法・情報提供について》

・駅やスーパーなど必ず寄るところで、イベントを開催して呼びかけをしていくことが大切だと思う。
・ごみの減量化、資源化についての冊子を配布されればもっと広まると思います。
・もっと簡単に分別方法がわかれば良いと思う。
・ごみの減量化・資源化の運動は自治体やHP等の働きを強化し、さらに推進すべきです。
・「ごみと資源の日程、出し方」と家庭ごみ分別事典はとてもわかりやすく良いと思いますが、これらは自治会を通して配布されているため、自治会へ加入していない世帯や1人暮らしの人には配布されていません。全世帯へ配布される様になれば、ごみは更に減ると思われます。
・近くの商業施設にいく機会も多いのでイベントや、紙の配布、クイズなどで子どもにも大人にも、伝えてもらえるとわかりやすいかと思う。
・楽しく減量ができる、おしゃれなエコなど、楽しみながら減量、分別ができるアイデアが広報や駅の広告で提供されたらいいと思います。
・効率よく手間なく減らす方法、他の家庭ではどのように減らしているのか、などを知りたいです。
・ごみがどのようにリサイクルされているのか、実際に燃料費などの処理費用は減っているのか、などをもっと活発に情報提供してほしい。
・大野中公民館女性学級では、今年度、「整理整頓～住、頭、体、命～」をテーマに、活動していく予定です。少しでもごみ処理に関して地域住民に啓発できればと思います。

《不法投棄・資源持ち去りについて》

- ・不法投棄を防止する為、不法投棄しやすい環境には監視カメラ等を設置する。合わせて定期的なパトロールで、違反者には罰則を設ける。
- ・ごみ、粗大ごみの不法投棄、今も見かけます。車から森の空き地に、常習犯でしょうか？大人ですよね。マナーが良くありません。
- ・アルミカンなどごみを不法に持って行ってしまう人がいるので、条例などで規制し、きちんと市の財源にしてほしい。
- ・また、資源回収日に自転車で空き缶のみを大量に持ち去って行く男性の姿を見かけますが、取り締りはやっているのでしょうか。折角住民が出した資源が役に立っていないのではと思いました。

《その他》

- ・市内のスーパーやコンビニエンスストアの協力を得て、包装の減量化・買物袋の有料化・衣類や家電商品の買い替え時に不要品の回収を行うなどごみを減らす。
- ・相模原市として、行政機関が、全ての生鮮食料品販売業者に個装を自粛するよう指導しては如何でしょうか。一般家庭生活で、絶対購入頻度が高いのは食料品と思います。
- ・フリーマーケットを市で月1回とか開催していかないものを減らすのが効果的と思う。
- ・今回のアンケートを通じて、ごみの量が市の財政を圧迫していることを知ることができました。その一方で、ごみ処理は、市のサービスであるとも認識しています。財政圧迫を理由に、サービスの質を落とすのであれば、それなりの根拠を提示いただきたいと思いました。
- ・費用についてもっと市民が認識できるようにPRする工夫が必要。1人当たり、家庭あたり等自分自身にかかっている費用で示す。
- ・ごみ費用削減をどの分野の費用に振り分けるかの目標などもあると、より市民は減量・資源化に向きあいやすい。
- ・カラス対策をしてほしい。最近またごみが散乱している光景を目にします。
- ・住民の自治会入会の促進により、ごみ当番を行なうことでごみに対する認識を高める。
- ・相模原市民一人一人がごみの減量を目指す。自身も一層そういたします。
- ・標語の募集をするなど市民が一丸化できる活動を考える。
- ・個人、各家庭の、習慣、意識の持ち方でごみの減量化は進む。誰かがやるのではなく、先ず自分がごみをつくらない、ごみを出さないことで30%は減量出来るのではないかな。
- ・“ごみ”というけれど、もとは自分が必要で購入したものに付随するものです。商品を買う段階でまず、ごみにつながるものを発生させない取り組みを企業も一層するべきだと考える。
- ・外国にはごみ処理等先進国があると思います。調査し学ぶべきものは学ぶべきです。
- ・保育園、幼稚園、学校等で子ども達に教え込めば家庭にも広がるだろうし、子どもも習慣付けば大人になっても無意識でもできるようになると思う。子どもがやっていたら親もやらなければいけないと思うようになるのでは。
- ・どうしたらごみを作らずにすむのかという視点も必要では？
- ・このままごみが増え続けると環境破壊に繋がり、私たちに明るい未来はありません。真剣にごみの減量化について考え、個人、企業等が一体となって対応していくべきだと思います。
- ・過剰包装をなくす。生活するうえでのごみはなくすことができないので、市民一人ひとりになるべくごみを少なくする風土を作り、ごみの回収、焼却に使う税金を少なくし、より福祉面への支出を厚くするよう、市民と行政のコラボレーションを強化、推進する。